

JNA国際ネイリスト 技能検定試験

JNA INTERNATIONAL NAILIST EXAMINATION 2ND LEVEL

試験要項

2級

JNA国際ネイリスト技能検定試験とは

NPO法人日本ネイリスト協会(JNA)は、ネイル産業の健全な発展を促すため

1997年に「ネイリスト技能検定試験」を始めました。

同試験は、2008年よりJNAとは独立した機関へ委譲されましたが、これまでに約70万人が受験しており、

日本のネイルの資格として最も歴史と実績を持つ検定試験です。

この度、JNAは、世界のネイリストの正しい技術と知識の向上、そして国際的なネイル技能の平準化を目的として、

新たに「JNA国際ネイリスト技能検定試験(英文:JNA INTERNATIONAL NAILIST EXAMINATION)」を行います。

タイムスケジュール

受付は行いませんので、事前審査開始迄に指定の受験番号の席にモデルとともに着席し、先にテーブルセッティングを済ませてください。出欠確認は事前審査とあわせて行います。

※モデルの方は実技審査終了後にお帰り下さい。

2 級

| 午 前 の 部 | | 午 後 の 部 | |
|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------|
| 9:10 | 開場 | 13:25 | 開場 |
| 9:45~9:55 | 出欠確認・事前審査(10分) | 14:00~14:10 | 出欠確認・事前審査(10分) |
| 9:55~10:30 | 実技試験・前半(35分) | 14:10~14:45 | 実技試験・前半(35分) |
| 10:31~11:26 | 実技審査・後半(55分) | 14:46~15:41 | 実技審査・後半(55分) |
| 11:26~12:15 | 実技審査(49分) | 15:41~16:30 | 実技審査(49分) |
| 12:15~12:30 | 筆記試験準備(15分) 道具の片付け時間を含む | 16:30~16:45 | 筆記試験準備(15分) 道具の片付け時間を含む |
| 12:30~13:05 | 筆記試験(35分) | 16:45~17:20 | 筆記試験(35分) |
| 13:05 | 終了 | 17:20 | 終了 |

※上記スケジュールはモデルケースです。

| | |
|-------------|--|
| 受験資格 | JNA国際ネイリスト技能検定試験3級取得者、JNECネイリスト技能検定試験3級取得者(JNA、JNEを含む) |
| 試験科目 | 2級:サロンレベルのネイリストと必要とされる総合的な技能及び知識。 |
| 試験内容 | サロンワークで通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、ネイルアートに関する技術及び知識が要求されます。 |
| 合格基準 | 実技試験は50点満点のうち38点以上、筆記試験は100点満点のうち80点満点以上で合格とします。 |
| 実技試験 | 事前審査【10分】 ● テーブルセッティング、消毒管理、モデルの爪の状態 前 半【35分】 ● ネイルケア 後 半【55分】 ● チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート |
| 筆記試験 | 試験時間【35分】 ● 出題形式: 択一問題・マークシート ● 出題内容: ネイルの歴史/衛生と消毒/爪の構造(皮膚科学)/爪の病気とトラブル(流目の生理解剖学)/ネイルケアの手順/リペアの種類およびチップ&ラップの手順/その他実践的施術全般/プロフェッショナルリズム 等 |

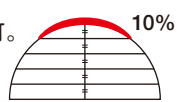
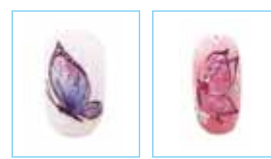
実技試験・規定の詳細と注意事項

モデルの爪について モデルの方は15歳以上に限ります。(男女不問)

- モデルの爪及び爪周りの皮膚に疾患が認められる場合はモデルになれません。
- モデルの爪はナチュラルネイルをベースとするが、イクステンション(パーチャルを含む)とリペア(グルーオンを含む)は、合わせて2本まで可。(ただしあくまでも、ナチュラルネイルの色と形に合わせて対応すること)
- 実技試験 1週間前からファイル及びキューティクルクリーンなどの手入れをしないこと。
- カラーポリッシュは真赤(パール、メタリック入り、アートは禁止)。試験前日までに両手に塗布しておくこと。

※試験会場内外では、試験開始までモデルの爪に手を加えることはできません。

※午前・午後の同一モデルは禁止。

| | |
|---|--|
| <p>事前審査(10分)</p> | <p><テーブルセッティング&消毒管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について ・衛生面における配慮(衛生的に処理されている用具、用材を使用すること) ・ウェットステライライザーの状態 <p><モデルの爪></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ポリッシュの塗布の状態 ・イクステンション(バーチャルを含む)、リペア(グルーオンを含む)の有無。規定の2本以内であるかどうか。(該当する場合は申告すること) ・フリーエッジの形、キューティクルの手入れの状態 ・爪及び爪周りの皮膚の状態 <p>※ハーフチップの仕込みの状態のチェックは行いません。(仕込みはすべて自由)</p> |
| <p>前半(35分)</p> <p>ネイルケア</p> <p>両手10本</p> | <p>手指消毒から始める。ポリッシュオフ、ファイル、ブラシダウン、キューティクルクリーンまで行う。</p> <p>① 手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと^{さっしきせいふ}擦式清拭※する。</p> <p>② カットスタイルは「ラウンド」。</p> <p>③ フリーエッジは長い場合でも5mm程度までとする。(10本のバランスを整えること)</p> <p>④ ナチュラルネイルのファイルは、エメリーボードを使用すること。</p> <p>⑤ メタルプッシャー・キューティクルニッパーは必ず10本の爪に使用し、キューティクルのプッシュバック・プッシュアップを適切にすること。</p> <p>⑥ 仕上げ用バフ使用可。</p> <p>※ウォーターネイルケア(フィンガーボールを必ず使用)を行うこと。 ドライネイルケアは禁止。</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーンプッシャー ・セラミックプッシャー ・ネイルマシン ・シャーミー(革製)バフ ・爪磨きシート ・オイル ・グリセリン ・調理用具 ・台所用品全般 ・その他規定外の用具、用材 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>※擦式清拭消毒とは…</p> <p>消毒用エタノールなどの消毒剤をコットンまたはガーゼに十分に含ませ、手指の全表面と指間、爪先にいたるまで汚れを除去しながら消毒剤を浸透させることです。手に直接噴霧(スプレー)することは、禁止とします。ただし、落とした物を消毒する場合など、清拭消毒を行えない場合は、試験会場という限られた現場での対応として噴霧(スプレー)しても構いません。</p> </div> |
| <p>インターバル1分</p> | <p>インターバル中はモデルの手に一切触れないこと。 注意：後半も手指消毒から始める。チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアートの順番は自由。</p> |
| <p>後半(55分)</p> <p>チップ&ラップ</p> <p>左手中指</p> | <p>フリーエッジ又は、ネイルプレート上にチップを装着し、リペアテクニック(ラップ)で補強するチップイクステンション。</p> <p>① チップ&ラップはサンディングから始める。</p> <p>② チップ装着時には、ナチュラルネイルのフリーエッジを短く(1mm程度)する。</p> <p>③ チップの色は「ナチュラル」のみを使用する。</p> <p>④ チップの仕込みはすべて自由。</p> <p>⑤ フリーエッジ(爪先)の仕上がりの長さは5mm程度とする。 ※チップ&ラップの装着の爪の長さは、他の9本と違ってよい。</p> <p>⑥ スタイリングは「ラウンド」。</p> <p>⑦ ラップ素材はシルクかグラスファイバー。</p> <p>⑧ ラップ剤は、ストレスポイントをしっかりと覆い、エッジの先端までを装着すること。</p> <p>⑨ ウォッシュャブルファイル、バフ使用可。</p> <p>⑩ アクティベーター(レジン、グルー等硬化促進剤)使用可。</p> <p>⑪ Cカーブは10%程度 右図イラスト参照。</p> <p>⑫ 仕上げのバフアリング後は何も塗布しないこと。</p> <p>⑬ カラーリング禁止。</p> <p>※リペアがある場合、仕上がりに影響がなければ、必ずオフしなくても良い。</p>  <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーンプッシャー ・セラミックプッシャー ・電動ドリル ・ネイルマシン ・シャーミー(革製)バフ ・爪磨きシート ・オイル ・研磨剤 ・エア缶タイプのアクティベーター ・グリセリン ・調理用具 ・台所用品全般 ・その他規定外の用具、用材 |
| <p>カラーリング</p> <p>チップ&ラップとアート以外の8本</p> | <p>チップ&ラップとネイルアートの指を除く8本にカラーリング。必ず、ベースコート、カラーポリッシュ、トップコートまで仕上げる。(表面に艶が出ていないこと)</p> <p>① リッジフィラー使用可。</p> <p>② カラーポリッシュは真赤。(パール、メタリック入りは禁止)</p> <p>③ カラーポリッシュは2度塗りする。</p> <p>④ 裏面もカラーリングする。エッジのみでも可。^{ツヤ}</p> <p>⑤ 仕上げはトップコートまでとする。(表面に艶が出ていないこと)</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイル ・グリセリン ・調理用具 ・台所用品全般 ・その他規定外の用具、用材 |
| <p>ネイルアート</p> <p>右手中指</p> | <p>テーマは「蝶」フラットアート(イラスト)。ベースカラーは真赤以外1色を必ず塗布し、とトップコートまで仕上げる。(表面に艶が出ていないこと)</p> <p>① 真赤以外に映えるフラットアートを施す。</p> <p>② イラストは筆のみを使用すること。</p> <p>③ ラメ、ラインストーン等使用可。</p> <p>④ 図案等の参考資料の持ち込み禁止。(カンニング^{ツヤ}行為と見なす)</p> <p>⑤ 仕上げはトップコートまでとする。(表面に艶が出ていないこと)</p> <p>⑥ 電源の使用禁止。</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規定外の用具、用材 ・アート用ステッカー(アートシール) ・ドットペン(マーブルツール) ・グリセリン ・調理用具 ・台所用品全般 <p style="text-align: right;">アート見本</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> |

実技試験の注意事項

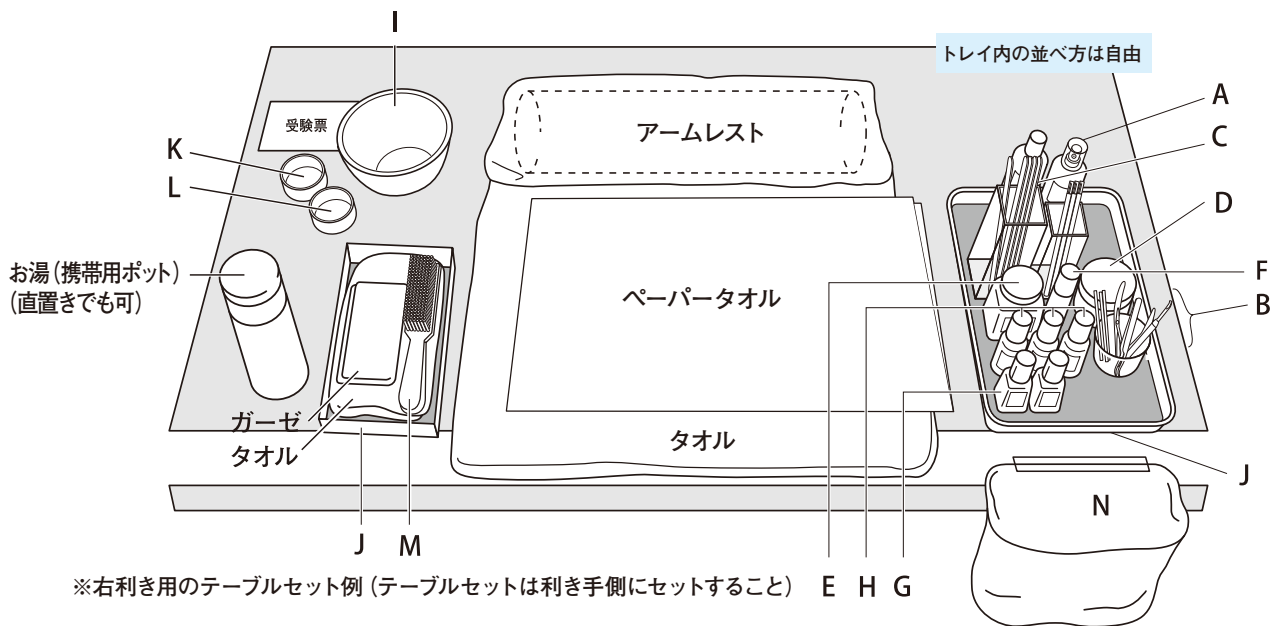
事前審査のチェックポイント <テーブルセッティング&消毒管理>

- 用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について
- 衛生面における配慮
- ウェットステリライザーの状態
- 事前にラベル貼付の必要な用具、用材を確認し、品名ラベルを貼ること。(下記のリスト参照) 容器にあらかじめ商品の名前がついていても別につけること。アルファベット表記は禁止。ラベルは見やすい位置に貼ること。
- 衛生的に処理されている用具、用材(エメリーボード、ファイル等)を整理整頓し配置すること。
※トレイやフィンガーボール、その他容器はプラスチックや金属製などの消毒可能なもの(木・紙・布製は使用禁止)。底面が網目状のトレイは使用しないこと。
※ネイル専用ブラシはトレイなどにセットする。(テーブルに直置きしない)
※2級で使用するシザー・チップカッターはトレイの中にセットする。

3級試験に合格していないと2級試験を受験できません。

テーブルセッティング規定

下記の必要な用具、用材は、受験級に応じて試験の内容を確認のうえ、すべて持参すること。(下のイラスト参照。衛生的に処理された用具、用材を整理整頓し配置すること)



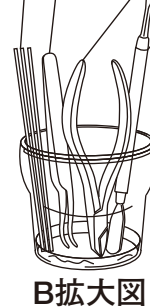
※右利き用のテーブルセット例(テーブルセットは利き手側にセットすること) E H G

- A: 消毒剤…消毒用エタノール、またはその他の消毒液
- B: ウェットステリライザー(アルコールで変質する容器は使用禁止) …消毒液をニッパーの刃先が浸る程度の量を目安に入れ、ニッパー類、ウッドスティック、メタルプッシャー等を浸す。
- C: ファイル立て
- D: コットン…蓋付き容器を使用すること。
- E: ポリッシュリムーバー
- F: 液体ソープ
- G: キューティクルクリーム or リムーバー
- H: ポリッシュ類
- I: フィンガーボール…適温の湯に液体ソープを少量入れる。(直置きでも可)
- J: トレイ…用具、用材は衛生的に整理整頓し配置すること。
- K: 水を入れた容器…ガーゼを湿らせる際に使用する。(直置きでも可)
- L: アート用 水入れ(直置きでも可)
- M: ネイルブラシ…消毒済のネイル専用ブラシを使用すること。トレイなどにセットする。(テーブルに直置きはしないこと)
- N: ゴミ袋

⑧ お湯は必ず携帯用ポットに入れて持参すること。実技試験中はテーブル上にポットを置いたままでよい。(フィンガーボールへのつぎたしが可能)
・照明器具は使用禁止。

※テーブルセッティングはこのイラストに従って下さい。
※規定のテーブルセッティングのタオルの下に、バスタオルやマット等を敷きつめ、その上に用具、用材を置いても減点の対象にはなりません。
※タオルやペーパータオルの色指定はありません。
※使用禁止の用具、用材をセッティングした場合は失格となります。
※ネイル用品及び美容用品を使用すること。

ウッドスティック ニッパー類
ピンセット
メタルプッシャー



B拡大図

注意

ニッパー類、ピンセットは必ずウェットステリライザーの中に入れること。(ただし、シザー、チップカッターは任意となります)

コットンまたはガーゼを敷き消毒用エタノールなどをニッパーの刃先が浸る程度の量を入れる。刃先保護用パットを使用する場合、その上にコットンまたはガーゼを敷くこと。

品名ラベルを必ず貼る品目

- ・シルク ・グラスファイバー ・グルー ・フィラー ・レジン ・アクティベーター ・プレプライマー
- (注) 上記に記載した用材の選択は自由 ※ネイルケア用品の記載の仕方は3級に準じる。

試験（実技、筆記）における減点対象事項

| | |
|---|--|
| A | 受験票、写真貼付、筆記用具忘れの場合（筆記用具が壊れている、芯が折れている等で、筆記用具を受付で借りた場合含む） |
| B | 受験票に貼る証明写真がスナップ写真やコピー等の場合 |
| C | モデルとして不適切な場合（爪及び爪周りの皮膚に疾患が認められる場合や14歳以下の場合） |
| D | 用具、用材が衛生的に処理されていない場合や、整理整頓されていない場合 |
| E | テーブルセッティングに不備があった場合 |
| F | 品名ラベルを必ず貼る用具、用材にラベルを貼っていない場合や、アルファベット表記の場合 |
| G | 消毒が不適切と認められる場合（手指及び用具消毒） ※欄外参照 |
| H | 私語の多い場合やマナーが悪い場合（受験生・モデルともに） |
| I | 手指へのダメージ（ファイルなどで赤みを帯びる等）を与えた場合（受験生・モデルともに） |
| J | ゴミを持ち帰らない場合 |
| K | イクステンションとリペアを施した爪がナチュラルネイルの色と形に合わせて対応していない場合 |
| L | イクステンション（バーチャルを含む）とリペア（グルーオンを含む）を合わせて3本施している場合 |
| M | カラーリング、ネイルアートの仕上げにトップコートを塗布していない場合、艶が出ていない場合 |
| N | 事前にモデルの爪が明らかに手入れされている場合 |
| O | 事前のポリッシュ塗布が手抜きである場合 |
| P | イクステンション、リペア以外のナチュラルネイルにウォッシュャブルファイルをしようとした場合 |
| Q | ブラシダウンを行わない場合 |
| S | 後半試験を手指消毒から行わない場合 |
| T | 後半試験で前半試験と同じ工程を繰り返し行った場合 |
| U | イクステンション及びチップ&ラップのサンディングを行わない場合 |

※試験中に用具類を落とした場合は、試験官に手を挙げて連絡し、自分で拾い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手をして申告すること。
（再使用しない物は、消毒を行わなくてもよいが、落とした物を拾う行為に対して手指消毒を行うこと）

※手指消毒は受験生自身の手から行うこと。（モデルの手から行った場合は減点）

試験（実技、筆記）における失格対象事項

| | |
|---|---|
| A | 遅刻（事前審査開始迄にモデルと共に着席していない場合） |
| B | カンニング等の不正行為・禁止行為 |
| C | 事前審査や実技試験終了後に作品に手を触れたり、手を加えた場合（受験生・モデルともに） |
| D | 用具、用材を忘れた場合や事前審査開始後に貸し借りを行った場合、試験官の許可を得ず黙って取り出した場合 |
| E | 試験官の指示に従わない場合（受験生・モデルともに） |
| F | 実技試験におけるタイムオーバー |
| G | 手指への出血を伴う損傷を与えた場合（受験生・モデルともに） |
| H | 使用を禁止している用具、用材などをセッティングした場合 |
| I | モデルが試験会場において受験生にアドバイスや手助けを行った場合や午前・午後のモデルが同一の場合 |
| J | ウェットステリライザーを用意していない場合 |
| K | アート用にステッカー（アートシール）、ドットペン（マーブルツール）を使用した場合 |
| L | ネイルアートの図案などを持ち込んだ場合（受験生自身の爪に試験のアートと同一のアートを施している場合を含む） |
| M | 手指間違い |
| N | イクステンション（バーチャルを含む）とリペア（グルーオンを含む）を合わせて4本以上施している場合 |
| O | 事前にポリッシュをモデルの爪に塗布していない場合 |
| P | キューティクルニッパーを10本の爪に使用していない場合やウォーターネイルケアを行っていない場合 |
| Q | プッシュアップを全く行っていない場合 |
| R | その他規程違反 |
| S | 減点対象項目も事項が著しくひどい場合（減点項目が3項目以上ある場合や1項目の内容があまりにひどい場合） |
| T | メタルプレッシャーを1本の爪に使用していない場合、プッシュバック・プッシュアップを10本全てに行っていない場合 |
| U | 前半試験で後半試験の内容を行った場合 |
| V | カラーリングの際、赤ポリッシュを1度塗りしかしていない場合 |

受験に際しての注意事項

来場にあたっての諸注意

1. 試験当日の受験申込は一切受理されません。試験会場には所定の申込手続きを完了した受験生とそのモデルだけが入場を許可されます。他の方が代わって受験することはできません。お子様同伴やペット等を連れてのご来場はできません。
2. 天候・季節によっては環境の維持が難しい場合があります。また、室内の体感温度については個人差がありますのでご自身で調整できる服装でご来場下さい。
3. 試験会場へは必ず公共交通機関を利用し、ご来場下さい。
試験会場周辺道路、店舗駐車場、空地への違法駐車・迷惑駐車、送迎車の駐停車は絶対に行わないで下さい。
(但し、補助が必要な方は除きます)

試験会場での諸注意

● 受験生・モデルの方へ

試験当日の体調管理には十分注意して試験に臨んで下さい。
とくにモデルの方は、実技試験および審査で長時間の試験となりますので、
妊娠中の方などは十分にご注意ください、体調管理は自己責任にてお願いします。
※試験中のお手洗いは、試験官の許可を得てご利用下さい。

1. 実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。
2. 事前審査開始迄にモデルと共に着席していないと受験はできません。
3. 受付は行いませんので、会場で着席位置を必ず確認すること。着席間違いは自己責任となります。
4. 試験に必要な物はすべて持参すること。
 - ★受験票 (※必ず写真を貼付すること)
 - ★実技試験に必要な用具一式
(予備の材料、道具は各自の判断でお持ち下さい)
 - ★鉛筆またはシャープペンシル (HBまたはB)
※鉛筆やシャープペンシルの芯が折れていないか、シャープペンシルが壊れていないか確認すること。
 - ★消しゴム (よく消える物)
※用具の貸し出しは一切行いません。
※筆記試験ではボールペン (消せるボールペンも含む)、サインペンを使用しないこと。
5. 会場内外のスペースを使用して準備等を行わないこと。
6. 不正行為・禁止行為を行った場合は失格となります。
7. 試験会場では試験官の指示に従うこと。受験生・モデル共にマナーを守り受験に臨むこと。マナー違反は減点対象となります。
8. 実技試験の際のお手回りのアクセサリは受験生・モデル共に時計のみとします。
9. 受験生はネイリストとして相応しいネイルであること。(カラーリングは自由) 服装も自覚と節度をわきまえること。
10. 試験会場からの問題用紙・解答用紙の持ち出しまたは持ち帰りをしないこと。
11. ゴミは必ず持ち帰って処分すること。
12. 会場内 (待機場所含む) では飲食・喫煙をしないこと。(ただし、水分補給は可能です。)
13. 会場内 (待機場所含む) では携帯電話・PHS・スマートウォッチなどの多機能電子機器等を使用しないこと。
また、時計としても使用しないこと。
14. 受験票・筆記用具忘れ、写真未貼付は減点対象となります。
15. 写真は必ず証明写真を貼ること。スナップ写真、コピー等は減点対象となります。

不測の事態による検定試験の中止について

不測の事態 (台風・地震・津波・その他の自然災害、ストライキ、新型インフルエンザの流行等) による試験会場確保の困難、
停電または交通・通信・物流の混乱等の事情により、検定試験を中止する可能性があります。中止のお知らせは公式ホーム
ページに掲載いたしますので、随時ご確認ください。なお、災害の規模等によっては電話が通じない場合もありますことを
あらかじめご了承下さい。検定試験を中止した場合の事後対応についてはその都度ご案内いたします。また、試験の中止に伴う
受験生の不便・費用 (受験料を除く) ・その他個人的損害については何ら責任を負いません。

- ※試験に関するご質問は一切お受けいたしません。この要項を熟読して下さい。
- ※可否結果に関するご質問は一切お受けいたしません。
- ※試験内容、スケジュール等は変更になる場合がございます。受験票で確認してください。